

## 姜尚中 聖学院大学学長 特別講演会

# 「キリスト教の現代的使命と若者」

明治期以降、多くの宣教師が来日し、各地でキリスト教学校が設立されましたが、1873年にキリスト教禁制が解かれた以降も、キリスト者は少数派に留まってきました。関東学院は、1884年にバプテスト派の宣教師によって創設された横浜バプテスト神学校を源流とし、130年に渡って、キリスト教の精神を基にした教育活動を続けて来ております。

今回の講演会では、政治学者として幅広く活躍するとともに、聖学院大学学長に就任した姜尚中氏とともに、現代日本の文化・宗教的な環境の中で、青少年がキリスト教学校で学ぶことの今日的な意義を探っていきます。

**日時：** 8月2日（土）10:00～11:45

**会場：** 関東学院大学 横浜・金沢八景キャンパス SCC館4階ベンネットホール

**講師：** 姜尚中（カン・サンジュン）聖学院大学学長

**演題：** 「キリスト教の現代的使命と若者」

**対象：** 関東学院 在校生・保護者

**参加方法：** 事前申込みは不要です。直接、会場にお越しください。

**お問合せ：** 関東学院 総務課 TEL：045-786-7028

**その他：** 撮影、録画、録音はご遠慮ください。



© 今村拓馬

姜尚中（カン・サンジュン）

Kang Sang-jung

1950年、熊本県熊本市に生まれる。国際基督教大学準教授、東京大学大学院情報学環・学際情報学府教授などを経て、現在聖学院大学学長、東京大学名誉教授。

専攻は政治学、政治思想史。テレビ・新聞・雑誌などで幅広く活躍。主な著書に『マックス・ウェーバーと近代』、『オリエンタリズムの彼方へ』、『ナショナリズム』、『東北アジア共同の家をめざして』、『増補版 日朝関係の克服』、『在日』、『姜尚中の政治学入門』、『ニッポン・サバイバル』、『愛国の作法』、『悩む力』、『リーダーは半歩前を歩け』、『あなたは誰？私はここにいる』など。共著に『グローバル化の遠近法』、『ナショナリズムの克服』、『デモクラシーの冒険』、『戦争の世紀を超えて』、『大日本・満州帝国の遺産』など。編著に『在日一世の記憶』など。小説『母—オモニー』、『心』を刊行。最新刊は『心の力』。